

まちのできごと



とんど（元町3丁目）

大竹市消防出初式



あとかき

議会の在りようについて全国的に議論が活発です。市民自治という言葉も踊ります。どんな政策も市民の理解があつて初めて存在しうるものだからです。

ところが行政は市民を信じて、本音で説明することを避けてきたように感じます。その隙間を埋めるのも議員や議会の大切な仕事だと思います。そうであれば議会は決して市民目線を忘れてはいけません。

昨年末に、本市議会で講師を招いての議会改革の講演会がありました。（P15に掲載有）「選挙の時しか語らない」「定数が多い」「報酬が高い」「やることが分からない」これが一般的な市民の声だそうです。

「語らない」から「やつてること」が分からない。だから議会は不必要で、報酬も、定数も限りなくゼロで十分だとなつてしまします。それで本当に良いのでしょうか。まずは「選挙でなくても」大いに語り、議会で「やつてること」を充実させ、それを正しく伝える事が必要です。

また、議会の寄つて立つべき位置は市民感覚であり、もし市長目線の

議会であるなら二元代表としての価値はありません。市民を挟んで市長と議会が向き合うのです。それでこそ議場が立体感を持ったわかりやすい議論の場になります。議会の役割を十分に果たす議会。それなしに改革を語っても空しいものがあります。

広報広聴特別委員

乃美 晴一	児玉 朋也
網谷 芳孝	藤井 馨
北林 隆	山崎 年一
日域 究	

ケーブルテレビで本会議の様子を生中継しています。

3月本会議日程（予定）
2月28日・3月8日
3月11日・3月26日

市議会議員と執行部の一般質問のやりとりなど、ぜひ、生中継でご覧ください。

加入手続きはふれあいチャンネル大竹支局まで。

☎ 0120-026-201

市議会だよりは市のホームページにも掲載しています。